

サイタマレディース探検隊

取材先 (株)沼澤製作所 八潮市南後谷 672

取材日時 平成 23 年 6 月 20 日(月)

「世界の女性のまつげをあげている！」企業として有名な八潮市に本店のある(株)沼澤製作所にお邪魔させて戴きました。世界の名立たる化粧品会社のビューラー(睫毛をカールさせる化粧道具)を製作している会社です。

ビューラーとは、かつて「ビウラ」と呼ばれていたものが、いつの間にかビューラーという言葉になったとのことです。(「BEAURA」という言葉は昭和37年に商標登録されたものでした。)



沼澤社長

1950年代創業、当時はビューラーの金型製造の下請が中心でしたが、ある出来事があって、75年にビューラーの専門会社に転換したそうです。

その転機は、5銭の値上げ交渉にも応じない親会社と袂を分かつことにより訪れました。先代から培ってきた金型製造の技術を十分に生かした高品質のビューラーを製作していくやり方に、思い切ってきりかえられたのです。自社製品の売込みにも奔走し、徐々に取引先を開拓され今日への基盤を築かれました。

そして、まもなく大きなチャンスが到来しました。化粧品業界最大手の資生堂からの直接のオファーが入り、ビューラーを生産することになりました。資生堂の品質基準は世界基準を超えた厳しいものであり、このレベルに達すれば、すべてのライバル会社にも認められるのだとか。その後も、業界を生き抜くために、現状に甘んじることなく、日々更なる品質向上に努められています。



手掛けたビューラーの数々

現在では、海外の高級ブランドのコスメ部門が出しているビューラーも数多く手掛けていらっしゃいます。また、この品質の高さは平成19年に、30年ぶりに一新された資生堂のマキアージュのビューラーが、商品検査に一発で合格点を頂いたことから伺えます。このようなことは業界ではほとんどないと自負なさっていらっしゃいました。このような品質の高さは、(株)沼澤製作所が培っ

てきた技術とそれを支える金型製造の緻密さ、職人技にあるようです。

沼澤社長は、他社が同様な商品を作成販売することについて“まねは、まねだから本物ではない”と微笑みながら言い切られました。

この優しい笑みは、先代から受け継いだ確かな技術と細部の緻密なこだわりは、どこにもまねはできないと自信に裏打ちされたものとお察しいたしました。



僅か35名の従業員で、一日に作り出すビューラーは、何と2万個！世界中の女性の瞳をググッと上げています。工場内を見学させて戴きますと、ガッチャン、ガッチャンと鉄の棒をプレスする機械音、機械油の匂いがして、ここから高級ブランド品が生まれていることに驚きつつ、顔面に当たる部品の角の面取り作業、まつ毛を挟む部分のゴム取り付け作業等、その徹底した丁寧な手作業の工程には、感心させられました。

もっと多くの一流企業と仕事をしたいと語る沼澤社長は、終始、取材質問に丁寧に和やかにお答えいただき、帰りには、名品のビューラーを頂戴しました。ビジネスチャンスの上昇気流もちょっぴりですが頂いてきた取材でした。

